

### 【NPO法人

### 森林をつくろう】

「山のこ」となること、最近では暗い話題ばかりが取り上げられます。環境問題への関心が高まり、都市部の人たちから森林保全への働きかけが盛んになってきました。山側から正確な情報発信を行い、山の恵みや楽しさを伝えていきたいです」と代表の佐藤和歌子さん。



一般市民に呼びかけて行っている植林活動

## 山の恵みや楽しさを伝えたい



自然体験活動でまき割りに挑む子どもたち

キーワードは「共生」と「山を元気に、そしてみんなが幸せに」。5年前にNPOを設立し、山林育成や自然体験事業などに取り組んできました。会員は林業関係者など県外にも広がっています。一般市民に参加を呼びかけ、ヤマザクラやモミジ、ケヤキ、クヌギなどの落葉樹、そして杉とヒノキの植林をしています。植林そのものが目的ではなく、多くの人に山の恵みや癒しを肌で感じてもらうこと、その中から環境保全の活動について、新たな認識をもってもらえることができました」というのが活動の趣旨です。

川遊び、まき割りなどを体験しました。子どもたちは初めてのまき割りにすっかり夢中。会員から香りや樹皮の違いを教わりながら、スギとヒノキの見分け方を学んでいました。

3月には国産木材100%のモデル住宅も建設し、公開しています。「住宅はその土地で育った木材を使うのが一番。環境に合っているので丈夫で、木の香りが安らぎを与えてくれます」といっています。

近年、輸入木材が増えるのに伴い、国産材の需要が低迷し、過疎化による人手不足も加わって、森林の荒廃が社会問題になっていきます。

佐藤さんは「厳しいのは確かですが、そこに住んでいる人が、夢を持って、お互いできることを考え、自然との共生を図っていくこと、それが地域の活性化にもつながると思います」と話されました。



木の香漂うモデル住宅の室内

一人ひとりが生き生きと暮らす元氣な神埼を。市民の立場で、住みよいふるさとづくりに取り組んでいる団体をシリーズで紹介していきます。



代表の佐藤和歌子さん

平成17年2月にNPO法人を設立。山林育成や自然体験、広報、国産木材PR事業などを行っている。現在、正会員14人、賛助会員は2団体、50人。

**NPO法人「森林をつくろう」** 神崎市脊振町鹿路585-1 TEL 0952-59-2018